

第二十五回「埼玉葛人権を考えるつどい」開催におけるご協力のお礼

去る十月十三日、久喜総合文化会館において、第二十五回「埼玉葛人権を考えるつどい」を開催しましたところ、お忙しい中ご参加いただき、また、多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。

埼玉葛地区全小・中学校二百二十五校、十万四千百八十三名の児童生徒及び教職員のみなさんが、被災地の一日も早い復興を願い、心を込めて作成していただいた折鶴、今年は約十万四千羽、平成二十三年から合わせて約六十一万八千羽が、会場内外を鮮やかに埋め尽くしました。

皆様の想いを乗せ、会場から、明るい未来に向かって、大きく羽ばたき、多くの声や想いが被災地や被災された方に届きました。

また、行灯やプラントーをはじめ、人権への想いを記した約十万四千人のメッセージカードは、各市町が工夫を凝らしたデザインで、会場内外を華やかに彩るとともに、ご来場された皆様が、個々のメッセージを胸に刻んだものと確信しております。

改めまして、貴校への感謝の意を表するとともに、皆様が作成した折鶴や人権への想いを記したメッセージを各市町村庁舎等に展示させていただき、今後におきましても、差別のない明るい社会となるよう人権啓発に努めていきたいと考えております。

なお、会場内を飾った折鶴やメッセージカードの写真を同封させていただきますので、お収めください。

平成二十八年十一月二十二日

春日部市長

春日部市教育委員会教育長

石川良三

植竹英生